



RACE REVIEW

全日本ロードレース選手権シリーズ第7戦 オートポリス
野左根航汰、3連勝&ポイントランキング首位獲得!

9月7日(土) コースレードの1分52秒299でポールポジションを獲得



このオートポリスで3連勝とランキングトップを目指す野左根は、前日のフリー走行で1分52秒183を記録し、昨年に自身が公式予選で記録したコースレコードを約1秒上回る好調ぶりでした。

土曜の公式予選で、序盤でトップタイムを出すことができた野左根は、タイヤやマシンの状態を確認しながら周回を重ねました。中盤のピットインでフレッシュタイヤへの交換と長めの休憩をとり、休憩中もライバルにタイムを更新されることなく、残り時間10分を切ったあたりで再びコースへ。

タイヤの皮剥きを終えると、序盤で出したタイムを塗り替える1分52秒299でポールポジションを獲得しました。前節SUGOで2位の表彰台を獲得したデチャが無難に2番グリッドを獲得、ポイントリーダーの生形選手も1分52秒台を出して3番グリッドにつきました。

ここ数戦は、野左根、生形選手、デチャ選手の三つ巴が続いています。

オートポリスでもこの3人が順当に上位グリッドを獲得し、決勝ではどの選手がホールショットを獲ってレースを展開するかが注目されます。

Pos.	No.	Machine	Rider	Team	Time
1	31	YZW-N6	野左根 航汰	ウェビックチームノリックヤマハ	R1'52.299
2	30	YZF-R6	Decha Kraisart	Yamaha Thailand Racing Team	R1'52.726



9月8日(日) 決勝 ポール・トゥ・ウインの3連勝でランキング1位を獲得!

昨年のオートポリスラウンドでは、コースレコードでポールポジションを獲得しながらも、決勝のスタート直後のマシントラブルで無念のリタイアをした野左根航汰。

現在、ポイントランキング2位の野左根がランキングトップに立つためには、生形選手より上位でのフィニッシュが条件となります。

野左根がポールポジションからの好スタートで、ホールショットを獲ります。以下、5番手グリッドから飛び出した井筒仁康選手、デチャ選手、生形選手が続きますが、この日の決勝は転倒が相次ぎ、目まぐるしく2位以下の順位が入れ替わる波乱の展開となりました。

トップの野左根は序盤で2位に3秒以上の差をつけ、独走状態に入るかと思われました。2番手以下を引き離しにかかる一方で、井筒選手がデチャ選手と生形選手、さらには高橋選手にもかわされ5番手に後退します。

しかし、高橋選手が単独で転倒し、その後、デチャ選手も100R立ち上がりでハイサイドによる転倒、その直後にいた生形選手は、デチャ選手を避けようと7番手まで順位を落とします。有力選手が次々と転倒、順位を落とす中、長島選手が2番手に、浦本選手が3番手に浮上します。

ライバルがペースを上げる中、野左根は53秒台からペースを上げることができず、徐々にその差を縮められていきます。レースを見守るチームスタッフからは、マシンに何かしらのトラブルが発生しているのでは、という声もあがりつつありました。

15周目に入ったところで、今度は長島選手が100Rでハイサイドで転倒。かわって2番手上がった浦本選手と3番手の生形選手が野左根の背後に迫りつつ、ファイナルラップで激しい2位争いのバトルを繰り広げます。

野左根はファイナルラップでは、2位との差が1秒を切っていましたが、なんとか逃げ切り、一度もトップを譲ることなくポール・トゥ・ウインで3連勝。生形選手を抜いてシーズン初めてのポイントリーダーに立ち、生形選手に4ポイント差をつけました。

2013シーズンも残すところ、9/28-9/29の岡山と11/2-11/3の鈴鹿の2ラウンドとなりました。

年間チャンピオン獲得を目指し、残る2戦も野左根航汰とチームが一丸となって頑張りますので、応援よろしくお祈りいたします!

>>続きはこちら[【レースレポート】全日本ロードレース 第7戦 in オートポリス](#)

>>次戦のJ-GP2は、[9月28日\(土\)・29日\(日\) 全日本ロードレース 第8戦 岡山](#)にて開催予定です。

▼フォトギャラリーはこちら

[【Webike Team Norick YAMAHA】全日本ロードレース第7戦 in オートポリス](#)

RESULT



決勝レース公式結果

Pos.	No.	Rider	Team	Lap
1	31	野左根 航汰	ウエビックチームノリックヤマハ	17
2	634	浦本 修充	MuSASHiRTハルク・プロ	17
3	2	生形 秀之	エスパルスドリームレーシング	17
4	34	岩田 悟	CLUB PLUSONE	17
5	8	関口 太郎	MSK Team TARO PLUS ONE	17

ポイントランキング

Pos.	No.	Rider	Pts.	TRM	TC	TRM	SUGO	AP	OIC
1	31	野左根 航汰	113	18	20	25	25	25	
2	2	生形 秀之	109	22	25	22	20	20	
3	51	高橋 英倫	91	25	22	20	13	11	
4	634	浦本 修充	86	16	16	16	16	22	
5	34	岩田 悟	69	8	18	13	12	18	



ライダーからのメッセージ



ポールからのスタートは久しぶりで、とても緊張しました。5周したあたりで、前後のタイヤをうまくグリップさせることのできないマシン状態であることに気付き、ここで一気に引き離さないとマズイと思いましたが、ペースを上げることが全くできずあれで限界でした。

サインボードからも差が詰まってゆくのが分かっていたので、正直とても焦りました。結果として優勝することが出来て本当に良かったのですが、レースの展開としては悔しく思いました。

(Webike TeamNorick YAMAHA 野左根 航汰)

阿部監督より「レースを終えて」



合同走行では、フルタンク(ガソリン満タン)にも関わらずよくあのタイムをだしたと思う。決勝はあのマシンの状態で、序盤で築いたアドバンテージを詰められるなか、転倒せずにマシンをコントロールしてよく逃げ切った。色々な面で、航汰のテクニックが向上していると感じる。予選または決勝で51秒台は欲しかったところだが、今回は勝てたことがとにかく良かった。

たくさんのご声援ありがとうございました。次戦も応援宜しくお願いいたします。

NEXT RACE...

[Rd.8] 岡山 2013年9月28日(土)/2013年9月29日(日)



【岡山国際サーキット】

早くも残すところあと2戦とクライマックスに近づいてきている全日本ロードレース。第8戦は岡山国際サーキットにて開催されます。全長3703m、2本のストレートを合計13のコーナーで繋ぐ構成の、テクニカルサーキットです。ポイント争いも拮抗している今シーズン、勝負の行方を迫力満点の岡山国際サーキットで熱いレースを堪能しよう!

サーキット概要

コース長	3,703mm
コース幅	12m-15m
アクセス	美作I.C./備前I.C.より約25km 作東ICより約10km(車で約20分)



≫ 公式サイト情報

📍 Webike TeamNorick YAMAHA

<http://norick.webike.net/>

📍 野左根 航汰選手 プロフィール

<http://norick.webike.net/nozane-kota/>

📍 参戦マシン紹介

<http://norick.webike.net/machine/>

📍 2013年 レーススケジュール

<http://norick.webike.net/race-schedule/>

≫ 公式Facebookページ

📍 Webike TeamNorick YAMAHA公式facebook

<http://www.facebook.com/Webike.Team.Norick.Yamaha>

Webike Team Norick YAMAHA
facebook 公式ページ

■□■□バイク用品 & インプレッション情報誌「ウェビック スタイル」□■□■
発行/編集 バイク用品&インプレッション ウェビック

このメールは、送信専用メールアドレスから配信されています。ご返信いただいてもお答えできませんので、ご了承ください。

ご意見・ご感想および各種問い合わせは[こちら](#)からお願いいたします。

Copyright (C) 2000-2013 Rivercrane Corporation. All Rights Reserved.